

科目名	言語ⅡB-3						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、更に幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N1 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2022年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	後期の授業運営の説明 / 社内で話す「さすが本田君(1)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3・4	社内で話す「さすが本田君(1)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5・6	社内で話す「さすが本田君(2)」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	7・8	小説を読む「楽園の萌花(1)」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9・10	小説を読む「楽園の萌花(1)」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11・12	後期前半まとめ				授業内評価テスト準備	
	13・14	授業内評価テスト(筆記)① / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	15・16	小説を読む「楽園の萌花(2)」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	17・18	小説を読む「楽園の萌花(2)」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	19・20	講演を聞く「トリアージ」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	21・22	講演を聞く「トリアージ」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	23・24	論説文を読む「前衛書道」前半				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	25・26	論説文を読む「前衛書道」前半				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	27・28	後期後半まとめ				授業内評価テスト準備	
	29・30	授業内評価テスト(筆記)② / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	言語ⅡB-2						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	N2レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN2レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	授業概要説明/8. ビジネス場面での会話 取引先で				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	3-4	9. 友達同士の会話 食べ放題(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	5-6	9. 友達同士の会話 食べ放題(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	7-8	10. エッセーを読む 満員電車(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	9-10	10. エッセーを読む 満員電車(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	11-12	11. 記事を読む ラーメンの紹介				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	13-14	12. ビジネス場面の会話 ウォーキングシューズの開発(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	15-16	授業内評価テスト(筆記)①/N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	17-18	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	19-20	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	21-22	12. ビジネス場面の会話 ウォーキングシューズの開発(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	23-24	13. ストーリーを読む 人生の転機(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	25-26	13. ストーリーを読む 人生の転機(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	27-28	14. 社説を読む オリンピックの開催について				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	29-30	授業内評価テスト(筆記)②/後期総復習				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅡB-1							
科目名(英)								
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	福永 沙耶花	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年							
授業概要	日本語能力試験N3レベルの文法を教科書に沿って学習する。また、場面に応じて学んだ知識を運用できるよう、作文、発話練習を行い、日本語能力試験N3レベルの文法を習得する。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				日常の幅広い場面で必要なN3レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる		
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での文法の使い分けができる		
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる		
テキスト・教材 参考図書	『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』(アスク出版 2017年)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1・2	8 就職の面接					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	3・4	まとめの問題／9 お花見(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	5・6	9 お花見(2)／まとめの問題					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	7・8	10 ゆきの選択(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	9・10	10 ゆきの選択(2)					教科書の復習(1時間)	
	11・12	まとめの問題／N3 文法 模擬試験					授業内評価テスト(筆記)①の準備	
	13・14	授業内評価テスト(筆記)①前復習／授業内評価テスト(筆記)①					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	15・16	11 友だちのお見舞い(1)					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	17・18	11 友だちのお見舞い(2)／まとめの問題					教科書の復習(1時間)	
	19・20	N2 文法 模擬試験／N2 文法					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	21・22	N2 文法					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	23・24	N2 文法					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	25・26	N2 文法					教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次回の小テストの準備(1時間)	
	27・28	N2 文法／後期総復習					授業内評価テスト②の準備	
	29・30	後期総復習／授業内評価テスト(筆記)②						
	評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する。(2)小テスト、課題を実施する。(3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト(筆記)		◎	◎				60%	
小テスト		◎	◎				20%	
受講状況					◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	言語基礎ⅡB-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするためにテキストに沿って学習し、語彙を積み上げていく。また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				日本語能力試験N1レベルの語彙が読み書きできる	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』（アスク出版 2015年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	6課 価値観が合う人 ―結婚―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	2	6課 価値観が合う人 ―結婚―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	3	7課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	4	7課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	5	8課 猫の手も借りたい ―慣用句・ことわざ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	6	8課 猫の手も借りたい ―慣用句・ことわざ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	7	JLPT模擬試験と解説、6～8課の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト(筆記)①				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	9	9課 富士山 ―世界遺産・名所紹介―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	10	9課 富士山 ―世界遺産・名所紹介―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	11	JLPT模擬試験と解説				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	12	10課 50%を占めている ―グラフ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	13	10課 50%を占めている ―グラフ―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	14	後期の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	授業内評価テスト(筆記)②					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅡB-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	伊東 佳代
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、中級レベル以降(N2レベル)の文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				N2レベルの文字・語彙を覚え、自分の言葉で説明できる	
		○				場面に合わせて適切な語彙を使用できる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』(アスク出版 2015年)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	前期振り返り・後期の授業の導入					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	2	価値観の合う人 ～結婚～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	3	価値観の合う人 ～結婚～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	4	桜が舞う ～季節～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	5	桜が舞う ～季節～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	6	応用問題					本日の授業の復習をする/ テスト対策
	7	後期前半まとめ/授業内評価テスト(筆記)					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	8	猫の手も借りたい～慣用句・ことわざ～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	9	猫の手も借りたい～慣用句・ことわざ～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	10	富士山～世界遺産・名所紹介～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	11	富士山～世界遺産・名所紹介～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	12	50%を占めている～グラフ～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	13	50%を占めている～グラフ～					本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/進出語彙は意味を調べて覚えてくる
	14	応用問題					本日の授業の復習をする/ テスト対策
	15	後期後半まとめ/授業内評価テスト(筆記)					本日の授業の復習をする
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅡB-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、N3レベルの文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ語彙を見て理解ができ、運用できる	
	○	○				使用場面に合わせて適切な語彙を選び、日常的な会話ができる	
		○				前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験問題集 N3語彙 スピードマスター』（Jリサーチ出版 2021年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 26. 大学				言葉の予習・復習	
	2	27.28 仕事・職業/パソコン・ネット				言葉の予習・復習	
	3	29.30 人と人・グループ/どんな人？				言葉の予習・復習	
	4	第2回実践練習 31. どんなもの？どんなこと？				言葉の予習・復習	
	5	32.33 どのように？/位置・方向				言葉の予習・復習	
	6	34.35 擬音語・擬態語①/擬音語・擬態語②				言葉の予習・復習	
	7	36.37 複合動詞①/複合動詞②				授業内評価テスト①の準備	
	8	授業内評価テスト(筆記)① 38. 基本動詞①				言葉の予習・復習	
	9	39.40 基本動詞②/「～する」の形の動詞①				言葉の予習・復習	
	10	41.42 「～する」の形の動詞②/カタカナ語				言葉の予習・復習	
	11	43.44 慣用句/言葉のいろいろな形				言葉の予習・復習	
	12	45. 言葉を作る一字 第3回実践練習				言葉の予習・復習	
	13	第1回 模擬試験				言葉の予習・復習	
	14	第2回 模擬試験				授業内評価テスト②の準備	
	15	授業内評価テスト(筆記)② 後期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になる場合がある。						

科目名	言語応用ⅡB-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	幅広い場面で必要な読解力と聴解力の向上を目的とし、N1レベルの聴解・読解の問題に取り組む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				N1レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク 2019年) 『日本語総まとめ N1 読解』(アスク出版 2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	聴解：Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第4週1～2日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	2	聴解：Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(4)／読解：第4週3～4日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3	聴解：Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第4週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	4	聴解：Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第4週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5	聴解：Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第5週1～2日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	6	読解：第5週3～4日目／応用問題				授業内評価テスト準備	
	7	後期前半まとめ / 授業内評価テスト(筆記)①				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	8	聴解：Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(4)／読解：第5週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9	聴解：Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第5週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	10	聴解：Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第6週1～2日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11	聴解：Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第6週3～4日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	12	聴解：Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(4)／読解：第6週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	13	聴解：Ⅶ模擬問題／読解：第6週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	14	応用問題				授業内評価テスト準備	
	15	後期後半まとめ / 授業内評価テスト(筆記)②				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(後期)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(後期)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅡB-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	橋本 秀子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの聴解・読解問題に取り組み、幅広い場面で必要な読解力・聴解力を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N2レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク 2011年） 『日本語総まとめ N2 読解』（アスク出版 2016年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第4週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	2	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第4週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	3	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第4週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	4	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第4週7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	5	聴解:Ⅳ「ポイント理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第5週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	6	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)-1／読解:第5週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	7	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(1)-2／読解:第5週5～6日目				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト(筆記)①、聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(2)				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	9	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第5週7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	10	聴解:模擬問題と解説／読解:第6週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	11	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:模擬問題				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	12	聴解:Ⅴ「概要理解」のスキルを学ぶ(5)／読解:第6週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	13	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第6週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	14	聴解:Ⅵ「統合理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第6週7日目				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	後期まとめ／授業内評価テスト(筆記)②					
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅡB-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	柴田 智子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解力、読解力を身につけるため、テキストに沿って練習していく。N3レベルの文法、語彙も確認していく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて、内容が説明できる	
		○				お知らせや案内、新聞などを読んで、必要な情報がとれる	
		○				比較的平易な意見文、説明文などの問題に対し、適切な答えが選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター 聴解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク 2019年） 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ 読解N3』（アスク出版 2019年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 読解：第4週1日目 見出し 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 2-B 決まった答え方				新出語彙などは必ず復習すること	
	2	読解：第4週2日目 グラフ① 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 3. 間接的な答え方に注意する				新出語彙などは必ず復習すること	
	3	読解：第4週3日目 グラフ② 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	4	読解：第4週4日目 広告① 聴解：Ⅳ「課題理解」のスキルを学ぶ 1. すべきことを考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	5	読解：第4週5日目 広告② 聴解：Ⅳ「課題理解」のスキルを学ぶ 2. 最初にすることを考える 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	6	読解：第4週6日目 まんが 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 1. 選択肢と同じ言葉に注意して聞く				新出語彙などは必ず復習すること	
	7	読解：第4週7日目 実践問題 第5週1日目 日記① 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 2. 答える文で言いたいこと(肯定的か否定的か)を考える				授業内評価テスト①の準備	
	8	授業内評価テスト(筆記)① 読解 第5週2日目 日記②				新出語彙などは必ず復習すること	
	9	読解：第5週3日目 家族① 第5週4日目 家族② 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 3. 追加情報に注意する				新出語彙などは必ず復習すること	
	10	読解：第5週5日目 小説① 第5週6日目 小説② 聴解：Ⅴ「ポイント理解」のスキルを学ぶ 確認問題				新出語彙などは必ず復習すること	
	11	読解：第5週7日目 実践問題 第6週1日目 意見文① 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 1. 話題をつかみ、全体として言いたいことを考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	12	読解：第6週2日目 意見文② 第6週3日目 意見文③ 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 2. 前置きの表現を手がかりにして意図を考える				新出語彙などは必ず復習すること	
	13	読解：第6週4日目 計算に関する文章 第6週5日目 医学に関する文章 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 3. 話しのパターンを手がかりにして意見・主張を聞き取る				新出語彙などは必ず復習すること	
	14	読解：第6週6日目 社会に関する文章 第6週7日目 実践問題 聴解：Ⅵ「概要理解」のスキルを学ぶ 確認問題				授業内評価テスト②の準備	
	15	授業内評価テスト(筆記)② 後期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	通訳ⅡB										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		田中 雅彦・福永 沙耶花		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ビジネス科2年										
授業概要	フォーマルな場面でも適切な日本語および母国語への訳出ができるよう、自らプレゼンテーションを行うことで日本語の語彙や表現の増強を図るとともに、話し手と通訳者の関係性について認識を深める。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				ビジネス場面を想定し、自ら設定したテーマに沿って簡単なレポートを書くことができる					
	○	○				作成したレポートの内容を日本語を使って説明ができる					
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	授業概要説明、通訳の基礎知識の復習					テーマを決める				
	2	テーマ設定、母国語にて情報収集①									
	3	テーマ設定、母国語にて情報収集②									
	4	テーマ設定、母国語にて情報収集③									
	5	日本語での原稿作成(プレゼン構成の決定)									
	6	原稿準備①									
	7	原稿準備②					原稿作成1次✓切り				
	8	原稿仕上げ									
	9	原稿推敲①									
	10	原稿推敲②									
	11	最終原稿作成									
	12	発表①									
	13	発表②									
	14	発表③									
	15	語彙、表現の確認									
評価方法	(1)課題 (2)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	課題	◎		◎						80%	
	受講状況							◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。										

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	企業内、ビジネス場面で想定される会話が理解でき、日本独自のコミュニケーション技法やマナーも踏まえて発話、応答できるようにするための語彙、文法を学び、会話練習を通し実践力を養う。授業はテキストに沿って行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本企業で働くにあたって必要な語彙の習得し、自分の言葉で説明できる	
		○				相手から発せられた会話が理解でき、適切な応答ができる	
		○				適切な語彙、マナーや日本の習慣、慣習も踏まえた発話ができる	
テキスト・教材 参考図書	『人を動かす!実戦ビジネス日本語会話【中級1】』(スリーエーネットワーク 2016年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、第4課「営業報告会に出る」①					
	2	第4課「営業報告会に出る」②					
	3	第4課「営業報告会に出る」③					
	4	第4課「営業報告会に出る」④				第5課の会話確認	
	5	第5課「職場の人とランチに行く」①					
	6	第5課「職場の人とランチに行く」②					
	7	第5課「職場の人とランチに行く」③				授業内評価テストのため第4課、第5課の復習	
	8	第5課「職場の人とランチに行く」④・授業内評価テスト(筆記)				第6課の会話確認	
	9	第6課「家族と休みの計画を立てる」①					
	10	第6課「家族と休みの計画を立てる」②					
	11	第6課「家族と休みの計画を立てる」③					
	12	第6課「家族と休みの計画を立てる」④				第7課の会話確認	
	13	第7課「人材紹介会社の人と会う約束をする」①					
	14	第7課「人材紹介会社の人と会う約束をする」②					
	15	第7課「人材紹介会社の人を面談をする」③・まとめ・定期試験準備				定期試験のための復習	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する(2)授業内評価テスト(筆記)を実施する (3)次の授業で前回の新出語彙について小テストを実施する(4)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	貿易実務B							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	白岩 和幸	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年							
授業概要	貿易の仕組みや貿易の流れの基本についてテキストに沿って学ぶ。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				貿易についての基礎的な言葉を学び、自分の言葉で説明できる		
		○				貿易の基礎的なしくみを理解し、その説明ができる		
テキスト・教材 参考図書	『絵で見る貿易のしくみ改訂版』（日本能率協会マネジメントセンター 2020年）							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	授業概要説明 前期の復習 貿易取引条件						
	2	第6章 貿易取引条件 インコタームズ						
	3	第7章 貿易取引リスクと保険 貿易ででてくる保険 ポイント						
	4	第7章 貿易取引リスクと保険 保険約款・貿易保険とはなど						
	5	第8章 輸出実務の流れ 在来船による輸出						
	6	第8章 輸出実務の流れ コンテナ船						
	7	第9章 輸入実務の流れ ①						
	8	第9章 輸入実務の流れ ② 関税の仕組みなど						
	9	第10章 お金のやりとり 外国為替 決済とは						
	10	第11章 貿易に関する規制の仕組み ①						
	11	第11章 貿易に関する規制の仕組み ② 検疫制度など						
	12	第12章 個人輸入 ① 規制・関税						
	13	第12章 個人輸入 ② 貨物の受け取り・アクシデント						
	14	個人輸入のシミュレーション 模擬実践						
	15	後期まとめ テストに向けての復習					定期試験のための復習	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テスト(筆記)を実施する (3)レポートを課す 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%	
	小テスト(筆記)・レポート	◎	◎				20%	
	受講状況				◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	IT応用 I B							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瑠璃垣 孝一	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年							
授業概要	1年次に学習したPowerPointの操作の復習から始め、PowerPointについてさらに幅広い機能を学習する。また、テーマに沿って自らPowerPointを使用して資料を作成し、プレゼンテーションを行う。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○	○			PowerPointを使って、プレゼンテーション資料が作成できる		
	○	○				相手に伝わる発表ができる		
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成資料							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	PowerPointの画面構成、スライド作成						
	2	アニメーション、画面切り替え効果						
	3	リハーサル機能						
	4	スライド作成①						
	5	スライド作成②						
	6	第1回プレゼン発表①				発表前にはプレゼンを完成させる		
	7	第1回プレゼン発表②				発表前にはプレゼンを完成させる		
	8	アニメーション付きのプレゼン作成						
	9	アニメーション付きのプレゼン修正						
	10	アニメーション付きのプレゼン仕上げ						
	11	発表練習①(Wordで発表内容をまとめる)						
	12	発表練習②(発表内容の修正)				発表内容はある程度完成させる		
	13	スライド修正、原稿完成						
	14	第2回プレゼン発表①				発表前にはプレゼンを完成させる		
	15	第2回プレゼン発表②				発表前にはプレゼンを完成させる		
評価方法	(1)課題 (2)発表 (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	課題	○	◎		○		50%	
	発表内容	○	◎	○	◎		30%	
	受講状況				◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	接客演習B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	長谷部 啓子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	会社でのビジネス場面ごとに、必要なマナーと行動様式を実践できるかを重視しながら学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：	△	演習：	○	実習：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○	○	○		第一印象を大切にしたい挨拶を常にすることができる	
	○	○				正しい敬語で受け答えができ、相手に良い印象を与えるポイントについて説明できる	
	○	○				日本独特のビジネスマナーを理解し、その説明できる	
		○		○		感じのよい電話の受け方ができる	
		○		○		感じの良い受付応対ができる	
テキスト・教材 参考図書	教員作成プリント（参考図書）『サービス接客検定3級実問題集』（早稲田教育出版）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビジネス文書の基本と日本の郵便事情					
	2	事務に必要な郵便の知識、封筒の書き方（演習）				次回、清書を提出すること	
	3	ビジネス文書の書き方（基本的な文書を書写する） 縦書き				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	4	ビジネスパーソン基礎知識 会社のルールとキャリアプラン					
	5	日本における冠婚葬祭時のしきたりとマナー、文化の違いを理解する				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	6	会社を訪問する際、個人宅を訪問する際のマナーの基本				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	7	会社の仕事の流れを体験する（ロールプレイング①）				ロールプレイングのための課題をすること	
	8	会社の仕事の流れを体験する（ロールプレイング②）				ロールプレイングのための課題をすること	
	9	会社の仕事の流れを体験する（ロールプレイング③）				ロールプレイングのための課題をすること	
	10	サービス接客検定3級にチャレンジ				次週、模擬テストを行う。採点后、提出すること。	
	11	サービス接客検定3級にチャレンジ					
	12	接客マナーコンテストについて、ケーススタディ、クレーム対応					
	13	接客マナーコンテスト（準備）					
	14	接客マナーコンテスト（予選）				各クラスから上位3チームを選ぶ	
	15	接客マナーコンテスト（決勝）、期末試験対策					
評価方法	(1) 定期試験（筆記）を実施する (2) 確認テストを実施する (3) 受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験（筆記）	○	◎				60%
	確認テスト（筆記・実践）	○	○	○	◎		20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	企業HR論B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦・福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	1)就職活動に必要な知識、語彙、麻生塾での就職斡旋ルールを学習する 2)日本で求められている社会人基礎力について学ぶ 3)就職面接を想定した実践練習						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		日本で仕事をするために必要となる知識を身につけ、よりスムーズに社会人生活をスタートすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント 『就職活動ガイドブック』(学校法人麻生塾)等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、前期の学習内容の復習					
	2	企業研究とは①					
	3	企業研究とは②					
	4	留学生の就職の形態について①					
	5	留学生の就職の形態について②					
	6	企業がもとめる人物像について①					
	7	企業がもとめる人物像について②					
	8	企業がもとめる人物像について③					
	9	企業がもとめる人物像について④					
	10	面接における会話について①					
	11	面接における会話について②					
	12	面接における会話について③					
	13	社会人基礎力とは①					
	14	社会人基礎力とは②					
	15	社会人基礎力理解度確認					
評価方法	確認テスト、提出物および態度・意欲にて評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講状況				◎		50%
	確認テスト	◎					50%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	プレゼンテーション技法B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦・福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科2年						
授業概要	卒業研究発表に備え、相手に伝わる表現ができるようになるため、プレゼンテーションを体験することを通して、発表技術の向上を図る。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				プレゼンテーションの手法を学び、より効果的なプレゼンテーションができるようになる	
		○				プレゼンテーションに必要な情報を自ら収集することができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、前期の復習					
	2	プレゼンテーションをやってみよう①					
	3	プレゼンテーションをやってみよう②					
	4	プレゼンテーションをやってみよう③					
	5	プレゼンテーションをやってみよう④					
	6	振り返り①(語彙、敬語の見直し)					
	7	振り返り②(聞き手への意識、配慮の見直し)					
	8	振り返り③(構成、内容の見直し)				テーマを考えてくること	
	9	テーマ選定、情報収集、構成の考案					
	10	プレゼンテーション準備①					
	11	プレゼンテーション準備②				最終発表の準備をしてくること	
	12	プレゼンテーション①					
	13	プレゼンテーション②					
	14	プレゼンテーション③					
	15	振り返り・まとめ					
評価方法	(1)最終プレゼンテーション (2)受講状況(態度・意欲、出席) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	○	◎		◎		70%
	受講状況				◎		30%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	卒業研究											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		田中 雅彦・福永 沙耶花			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ビジネス科2年											
授業概要	2年間の学習の集大成として、ビジネスに関するテーマを設定し、論文作成と発表を行う。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				論文の形式を理解し、それに沿った文章を書けるようになる						
	○	○				自分の仮説を証明する情報を収集することができる						
		○	○	○		卒業研究のテーマに沿ったプレゼンテーションができる						
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	授業概要説明、「論文」の理解					テーマを考えておくこと					
	2	論文作成のポイント①					テーマを考えておくこと					
	3	論文作成のポイント②					テーマを考えておくこと					
	4	テーマ選定①										
	5	テーマ選定②					情報収集を行っておくこと					
	6	論文作成・情報収集①					情報収集を行っておくこと					
	7	論文作成・情報収集②					情報収集を行っておくこと					
	8	論文修正					PowerPointの構成を考えておく					
	9	プレゼンテーション準備①										
	10	プレゼンテーション準備②										
	11	プレゼンテーション準備③										
	12	振り返り、修正・卒業研究発表会ファイナリスト発表										
	13	論文修正、プレゼンテーション資料修正①										
	14	論文修正、プレゼンテーション資料修正②・卒業研究発表会準備										
	15	論文修正、プレゼンテーション資料修正③卒業研究発表会準備					全体発表について各自の役割を最終確認する					
評価方法	(1)発表 (2)受講状況(態度・意欲、出席状況) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	発表	○		◎		○		◎				80%
	受講状況							◎				20%
履修上の注意												

科目名	会計実務B							
科目名(英)								
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	稲永 千代美	
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科2年							
授業概要	全経簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学ぶ。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが説明できる		
		○				全経簿記3級の後半の内容を理解し、説明ができる		
		○				全経簿記3級の過去問題に解答ができる		
テキスト・教材 参考図書	『全経簿記能力検定試験公式テキスト3級【第5版】』(ネットスクール出版 2023年)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-3	税金・引出金 消費税の処理 引出金と税金				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4-6	有価証券 有形固定資産 株式の発行 株式会社の資本構成				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7-9	決算の手続き(2) 決算整理記入 売上原価の計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10-12	決算の手続き(2) 貸倒れの見積もり 消耗品費の処理				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13-15	決算の手続き(2) 費用の繰延べ、見越し				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16-18	精算表 財務諸表 損益計算書と貸借対照表 帳簿の締切り				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19-21	伝票会計・試算表 3伝票制 試算表作成問題の解き方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22-24	過去問題演習						
	25-27	過去問題演習						
	28-30	過去問題演習						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テストを数回実施する (3)欠席・忘れ物・携帯使用・居眠り・私語を受講状況として評価の対象とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%	
	小テスト	◎	◎				20%	
	受講状況				◎		20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	一般教養Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		田中 雅彦			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ビジネス科2年											
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				就職試験レベルの漢字の問題を解くことができる						
	○	○				数的な問題の基本を理解し、自分の力で問題を解くことができる						
		○				時事問題について自分の考えを持つことができる						
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	授業概要説明、就職適性検査の説明、漢字①										
	2	SPI対策①、漢字②					確認テストの準備をしてくる					
	3	SPI対策②、漢字③					確認テストの準備をしてくる					
	4	SPI対策③、漢字④					確認テストの準備をしてくる					
	5	SPI対策④、漢字⑤					確認テストの準備をしてくる					
	6	SPI対策⑤、漢字⑥					確認テストの準備をしてくる					
	7	SPI対策⑥、漢字⑦					確認テストの準備をしてくる					
	8	時事①、漢字⑧					確認テストの準備をしてくる					
	9	時事②、漢字⑨					確認テストの準備をしてくる					
	10	時事③、漢字⑩					確認テストの準備をしてくる					
	11	時事④、漢字⑪					確認テストの準備をしてくる					
	12	時事⑤、漢字⑫					確認テストの準備をしてくる					
	13	時事⑥、漢字⑬					確認テストの準備をしてくる					
	14	時事⑦、漢字⑭					確認テストの準備をしてくる					
	15	まとめ										
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テストを数回実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)		◎		◎						60%	
	小テスト		◎		◎						20%	
	受講状況						◎				20%	
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。											